

ミライDEA FORUM 2018

中高生が医療現場・行政・企業など幅広い医療の仕事学ぶ

イベントを通して、医療に関わる仕事の内容や魅力を体感。中高生総勢150名が夢への第一歩を踏み出す1日となりました。

理系・文系問わず医療に関わる職業を志す生徒たちが興味・関心を広げました

10月8日、医療に関する様々な仕事の話が聞ける中高生対象のイベント「ミライデアフォーラム2018」が東京で行われました。医療業界の第一線で活躍しているプロフェッショナル9名が講師として登場。文系・理系に関係なく医療に興味をもつ中高生約150名が参加し、講師が語る仕事のやりがいや苦労、質疑応答などを通して、医療に関わる仕事について理解を深めました。また、特別講演として元サッカー日本代表で解説者としても活躍され、今年8月に東京都1部リーグに現役復帰された福西 崇史さんが登壇し、夢の実現に向けた自身の歩みや医療とスポーツの関係について話しました。主催社の内木祐介社長は「中高生に職業選択の幅を広げてもらいたいと思い、裾野が広がっている医療業界とそれぞれの現場を理解してもらうためのセミナーを開催しました。こうした機会を通して将来一人でも多くの人が医療への興味を高め、関わっていただけたらうれしく思います」と話しました。



医師

【私のしごと】
循環器内科医として、心臓の不整脈を治療しています。心臓が原因の突然死は年間10万人も亡くなる深刻な病気で、その治療や再発防止のため患者さんと向き合っています。医師は長時間勤務で忙しく、また新しい治療法を修得するため一生勉強が続きます。でも、患者さんから感謝の言葉をもらうと治療の苦労も吹き飛びます。患者さんの人生に関わる、とてもやりがいのある仕事です。

【皆さんへのメッセージ】
受験勉強も含め色々なことに興味をもちましょう。そして自分が何をしたいか考え、夢を持ちましょう。実現のために、自分を大切に、周りの人を敬い、努力を続けてください。

副島 京子さん
杏林大学 医学部付属病院 教授

【このおエン지니어】
としてチーム医療を支えます

看護師

【私のしごと】
泌尿器科の看護師として勤務しています。朝8時から午後3時ごろまでは、外来患者さんのケアと、医師の診察の補助を行います。それ以降は、排尿ケアチームのメンバーとして病院全体の患者さんの排尿に関する悩みに対して、正しい知識を提供し、症状を軽くする活動も行っています。

【皆さんへのメッセージ】
看護師は患者さんの回復と共に喜びことができ、患者さんからエネルギーをもらえる仕事です。私は排泄の問題に取り組むため泌尿器科に移りましたが、診療科は多くあり、今は看護師が活躍する場も病院以外にも広がっていますから、興味のある分野で頑張ってください。

若松 ひろ子さん
厚生中央病院 看護師

志賀 拓也さん
NTT東日本関東病院 内視鏡部 臨床工学技士

【このおエン지니어】
としてチーム医療を支えます

厚生労働省

【私のしごと】
2009年に入省後、診療報酬の見直し、原爆被験者の方の支援をはじめいろいろな仕事に携わってきました。現在は、がん対策の研究を今後10年でどう戦略的に進めていくかを考え、推進しています。また国民の皆さんにがんに対する知識を深めてもらう取り組みや、定期検診の普及なども行っています。

【皆さんへのメッセージ】
私は医学部を卒業し、医療に関わる部署で仕事をしています。行政にはいろいろな分野の専門家が活躍するフィールドがあります。国家レベルあるいは世界規模で施策を考え取り組んでいくため、責任も大きいですが、大きな影響力がある点も魅力です。

丸山 慧さん
厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 がん対策推進官

【このおエン지니어】
として国民の健康を守るためのルールづくりや情報発信をします

医療機器メーカー

【私のしごと】
外資系の医療機器メーカーで業事の仕事をしています。病気の診断や治療に使う医療機器は、安全に使えるかの確認をしてから実際に病院で使用されます。私の会社では、本社があるアメリカで製造した医療機器を高浦さんが働くPMDAで審査してもらい、厚生労働省の許可をもらって初めて医療現場に提供できます。私の仕事は、この審査のための資料をまとめ申請書を提出することです。

【皆さんへのメッセージ】
将来の仕事のイメージはまだつかみにくいですが、常に新しい発見を大切に、それが「面白そうだな」という興味に変わったら、探求してみると、道が開けてくると思います。

武内 良太さん
ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株) 薬事本部

【このおエン지니어】
として病気の治療法を開発するための基礎研究を行います

ベンチャーキャピタリスト

【私のしごと】
ベンチャーキャピタルは、投資家（企業）からお金を預り、有望なベンチャーに投資、サポートし、その企業の上場や売却によってリターンを得ます。私はサイエンスとビジネスの橋渡しをして世の中に貢献するため、日本中を回って人と会い、新しい技術やアイデアを発掘しベンチャーとして立ち上げるお手伝いをしています。

【皆さんへのメッセージ】
これからの社会で必要なのは、多くの情報をもとに「自分の頭で考える力」、国籍や性別を超えた「チームのなかで能力を発揮できること」、そして「自分の強みを伸ばす力」だと思います。皆さんに素晴らしい未来が開けますように。

盛島 真由さん
Beyond Next Ventures(株) マネージャー

【このおエン지니어】
としてサイエンスとビジネスの橋渡しをしています

医療IT

【私のしごと】
医療の分野で、情報を活用した新しいインフラをつくりたいと思い、現在の会社に入りました。AIによる診断支援が進化しているなかで、私たちが取り組んでいるのは、世界中の医師が、病気を発見するソフトを気軽にダウンロードし使用できるプラットフォームをつくることです。キーワードは「コミュニケーション×デベロップメント」。多くの人と会って話し、その知恵を集め、仕組み化し、患者さんに貢献することを目指しています。

【皆さんへのメッセージ】
新規事業には周囲の人が共感できる「ストーリー」が必要です。ITベンチャーを目指すなら、このストーリーを構想し、実現できる実力を磨くことが必要です。

鈴木 裕之さん
エムスリー(株)AIラボ事務局長 / G-TAC(株)代表取締役社長

【このおエン지니어】
としてITで医療の新しいインフラを構築します

医薬品医療機器総合機構(PMDA)

【私のしごと】
独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)で広報の仕事をしています。PMDAでは、新しく開発された医薬品の品質や有効性・安全性を審査する「承認業務」、薬が市販された後の副作用について調べる「安全対策業務」、そして医薬品副作用の被害を救済する「救済業務」の3つの業務を実施しています。

【皆さんへのメッセージ】
PMDAは厚生労働省とタッグを組み、国民の皆さんの命と、医療の安全を守る仕事をしています。医療や行政に興味のある方で、PMDAについてもっと知りたいと思ったら、ホームページなどでぜひ「PMDA」を検索してみてください。

高浦 葉月さん
医薬品医療機器総合機構(PMDA) 企画調整部広報課 主査

【このおエン지니어】
として国民の命と、医療の安全を守っています

大学の研究者

【私のしごと】
体内で分泌されるホルモンの研究をしています。直接、治療には関わりませんが、病気の原因を発見して治療法を開発していくために必要な研究です。たとえば糖尿病の患者さんがインスリン注射をしなくても済む治療を開発するなど、細胞の構造と動きを研究することが、新しい薬を作るうえで手助けになることも考えられます。

【皆さんへのメッセージ】
文系から理系に進路変更した自身の経験から、回り道も役立つことがあります。また研究者は辛いことも多いですが実験の成功、新しいアイデアの創出、論文発表などやりがいもあります。そして何より夢があります。

原田 一貴さん
東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系専攻 3年

【このおエン지니어】
として基礎研究を行います

新しい医療機器を世の中に出すために動いています

【このおエン지니어】
として新しい医療機器を世の中に出すために動いています

夢はすぐには叶いません、努力の積み重ねで実現します

元サッカー日本代表 福西 崇史さん

育てよう。未来の医療を担うチカラ。

今回、「ミライデアフォーラム2018」を主催したボストン・サイエンティフィックは、患者さんへの負担を可能な限り軽くする低侵襲治療に特化した医療機器メーカーで、約13,000種類の製品を取り扱い、グローバルで約29,000名の従業員が働いています。ボストン・サイエンティフィックのミッションは「世界中の患者さんの健康状態を改善するために、革新的な治療法を提供し、患者さんの人生をより豊かなものとする」と。あらゆるステークホルダーとつながりながら、医療の世界と地域社会へ貢献する活動の一環として、未来の医療人材を育てる教育プログラムを展開しています。



取組み1 出前授業

「学ぼう!」からの不思議」と「医療」

社員が小学6年生向けに「理科」または「保健」授業の一環として、医療機器メーカーならではの視点で出前授業を行っています。学習を通じ、人体や医療への興味関心を深めることを目的としています。



取組み2 ポストン・サイエンティフィック・スクール

「キッズのための自由研究 IN 中野」

人体の仕組みや医療の世界を学ぶことができる体験型イベントで、本社がある中野の地元の小学生を対象に夏休みに開催しています。参加する子どもたちは、キッズドクターとなり、体の仕組み、医療に関わる最先端のテクノロジーを見て、触って、楽しく学べます。



Boston Scientific
Advancing science for life™